

猛暑続き、値上がり懸念

葉物

春の激しい寒暖差や少雨、7月の猛暑などが影響し、葉物類や夏物野菜の値上がり懸念されている。平年よりも野菜の流通量が少なく、一部品目で店頭価格はじわりと上昇。県内のスーパーは少量パックの販売に力を入れたり、多品目を特売したりして値ひく感を出そうと工夫している。



夏野菜

静岡市中央卸売市場青果部の卸売業者「静岡VF」によると、ホウレン草の入荷量は前年同期比20～30％少ない。葉物類に品薄感があり、野菜全般では平均卸値（1キ^ロ当たり）が約10％高い。今後、入荷が増えていくキュウリやトマト、ナスといった夏野菜も入荷量に不透明感が漂う。連日の猛暑で葉物類は葉が

スーパー 少量売りなど工夫

傷むなど、品質低下が目立つ」さらに「春から夏にかけて気象変動が激しく、生育不良や病害虫の発生も目立つ」（県中部の農家）ことなどが入荷減の要因とみられる。

静岡市のスーパーでは、トマトの店頭価格が前年比25%高。レタス、ホウレン草、ナスも高値基調という。同店青果バイヤーは「キャベツ、レタスなどメーン商材は赤字覚悟で売る」。県西部に展開するスーパーは、少量パックの品ぞろえを強化した。価格が安定しているキノコ類で特売を組み、誘客を図る店舗もある。

ただ、このごろの猛暑続きで、「来週に入れば、売価を一気に10〜20%引き上げざるを得ない」（県中部のスーパー青果部）との声も聞かれるようになってきた。

スーパーでは猛暑などによる影響で野菜類、夏野菜の値上がりが見え、懸念される＝静岡市内

2013年7月13日朝刊 政経

- ① きびしい暑^{あつ}さで値^ね上^あがりしているのは何ですか。

$$\left(\begin{array}{c} \vdots \\ \vdots \\ \vdots \end{array} \right) \left(\begin{array}{c} \vdots \\ \vdots \\ \vdots \end{array} \right)$$

- ② ^{はもの}葉物と^{なつやさい}夏野菜を、記事から3つずつ書きましょう。

葉物 () () ()

夏野菜 () () ()

- ③ スーパーでは、お客さんに買ってもらうために、どんな工夫をしていますか。

年 組 名前